動画上映＆町づくりトーク
10年後の伊野を考え活発な意見交換
14町内８団体　470人が参加

深刻な課題「わがこと」として
小さなグループで楽しく話し合おう

伊野地区自治協会が制作した動画「一〇年後の伊野を考える」が各町内や団体で上映され、大きな反響を呼んでいる。どの会場でも多くの発言があり、自治協会役員を驚かせている。伊野暮らしの良さとともに、草刈などの行事参加や役職の多さなど伊野暮らしのマイナス面についての声も多くあがった。

こうした声をつなげ、十年後の伊野はどうあってほしいかを皆で考え、具体的な取組を開始しようと、自治協会は小さなおしゃべりグループをつくって話し合いをすることを呼びかけている。

４月８日、町内会長対象の動画上映会を皮切りに始まったまちづくりトークはこれまで１４町内、８団体で行われ、参加者数は４７０人を越えた。自治協会役員が町内に出向き直接住民の声を直接聞くのは初めての試みであった。

また、毎回、島根県中山間地域研究センターのスタッフや市役所職員、出雲市社会福祉協議会職員が同行するなど、行政も強い関心を示した。

動画にはドローン映像が随所に織り込まれ、「伊野の魅力を再発見した」という声が聞かれた。人口データなど深刻な課題も提起されており危機感を感じたという声も多く聞かれた。この動画を伊野の未来を担う若い人たちや地区外の人たちにも見てほしい、という提案も多く寄せられたので、自治協会は今後も上映機会を増やしたいと考えている。

三ノ谷会場

気持ちを共有
楽しく遊び心をもって

美しい風景と共に地域の現状と課題を捉えた伊野ビジョンムービー。「まちづくりトーク」は地域の自慢や希望、不安や課題、提案など様々な視点で意見や想いが活発に出てきた会でした。

出てきた意見を活かしていくためにも、住民の皆さんの自慢や希望、不安や課題、提案、発見を皆で共有しながら、楽しいまちづくりを伊野のみんなで進めていきましょう。

中山間地域研究センター
吉田　翔

多様な関心、どうまとめる

「運転免許を返上した後の買い物や通院が心配」（６０代女性）、「息子の結婚が心配」（６０代女性）、「農家ステイなど他地域から人を呼びこむ企画を」（大学生）、「役職や労力負担が大きいので、若い者に伊野に戻って来いとは言えない」（６０代男性）、「伊野小が少人数であることのディメリットが心配」（３０代女性）。年齢や性別により関心事が異なるが、それを共感しあえたことが成果であろう。自治協会は、これから「十年後の伊野ビジョン」を作成しようとしているが、ビジョン作成にあたっては、多岐にわたる内容をまとめあげるため、多くの人びとの参加を呼びかけている。

今後の展開にあたっては、「問題の我がこと化が大事」（島根大学・作野広和）、「他地域の事例とか、これから自動運転車が公道を走るようになったらどんな生活になりそうとか、新しい情報と自分の人生を重ね合わせて考える」（山崎亮）などのアドバイスが届いている。

まちづくりトークの発言

○高齢者世帯にとって草刈や雪かきはつらい。
○行事参加や役職負担が重い。若者が伊野に定住するためには、こうした負担を軽くし、プライベートな時間を保障することが大事。
○運転免許を返上したとき、買い物や通院が心配。
○ふるさと会員の寄付による修学旅行費補助、高校受験学習会、伊野ベーション、夏休み等の子ども１日預かりなど手厚い支援に感謝している。
○少人数の学校、複式教育などに不安を感じる。今後、統合は考えないのか。
○離農者が相次ぎ、農地がどんどん荒れていく。高齢農業者が小遣い程度の収入を得る方法を考えることはできないか。
○Ｉ・Ｕターンを増やすために伊野の情報発信や空き家対策を進めないといけない。
○息子の結婚が一番の関心事。縁結びのお世話役をつくってはどうか。
○伊野本線と国道４３１をつなぐ道路拡幅を。

（詳細　裏面）

酔考

まちづくりトークの発言の多さに驚いている。発言を受け止めてもらえるという支持的風土が各町内にあるのだろう。一方、「もう限界」という、せっぱつまった状況も発言の背景にあると感じた。

伊野暮らしの良さとともに課題も浮きぼりになった。人ごとではなく「わがこと」として考える人がどれだけ増えるかが伊野の未来のカギを握っている。

十年後、私たちの幸福度が増すためにできることは何だろう。一人でできること、二人でできること、町内でできることは何だろう？一緒に考える仲間こそ幸福感や元気の源だと感じる。

（祥）

小さなおしゃべりグループ募集
楽しくまちづくりを語ろう

各町内や団体で出された意見をさらに煮詰めて皆で伊野のまちづくりを考えるため、自治協会は隣近所や知人友人の小さなグループをつくって話し合ってもらうことを呼びかけています。

どんなテーマでもけっこうです。伊野の良いところ、困っていること、こんな伊野にしたい、など１０年後の伊野を楽しく暮らしやすい地域にするためのおしゃべりをしていただきたいのです。

おしゃべりグループで話し合われた内容を交流する会を１１月８日夜に開催します。講師は国際的に著名な山崎亮さん（小６国語教科書「町の幸福論」著者）。

伊野ニュース

■伊野マリンズ（伊野小女子バレー・岩成正美監督）が９年ぶりの県大会出場を果たしたが、惜しくも１回戦で敗退。

■消防伊野分団が７月１日に行われた平田地区消防操法大会で見事３位入賞。

■平田 CATV が毎年開催する「雲州わがとこ祭」を今年は伊野小学校で、８月２５日（土）に開催することが決定。マグロ解体ショーやのど自慢大会など盛りだくさんの内容になっている。生ビールや焼きトリなどの屋台はすべて１００円均一。

伊野まちづくりニュース NO.1
２０１８年７月２８日（土）
発行　伊野地区自治協会